

調査概要について

住民アンケート バス利用実態調査

令和5年（2023年）7月6日

播磨町



播磨町マスコットキャラクター
「いせきくん」と「やよいちゃん」

1. 住民アンケート調査概要

(1) 目的

- 将来を見据えた公共交通の利便性向上に資する総合交通輸送システム等を検討する上で、住民や公共交通利用者の生活実態・交通行動等の公共交通に対するニーズをはじめ、以下の内容を明らかにするための住民アンケート調査を実施する。
 - 1) 播磨町の公共交通の課題
 - 2) 公共交通に対する潜在需要を含む需要
 - 3) 新たなサービス改善施策検討のための課題抽出

(2) 調査概要

【調査対象者】

- ・ 播磨町在住の16歳以上の住民

【調査方法】

- ・ 住民基本台帳から無作為抽出による郵送配布・郵送回収（6ヶ月以上在住者対象、地区別・年代別に播磨町の人口構成に応じて均等抽出）

【調査規模】

- ・ 播磨町全域で2,000部郵送、回収率40%（800部）を想定
- ・ 以下に示す属性ごとに1,000部郵送
 - ・ 16歳～64歳：1,000部
 - ・ 65歳以上：1,000部

【調査実施時期】

- ・ 令和5年（2023年）7月下旬～8月上旬

1. 住民アンケート調査概要

(3) 調査項目

- ① 普段の外出状況について
 - ・ 平日及び休日（土・日祝日）の外出状況
 - ・ 普段の移動における満足度
- ② 播磨町内の公共交通（路線バス（神姫バス）等）の利用状況について
 - ・ 播磨町内のバス等の利用状況
 - ・ バスでの移動の満足度
 - ・ バスを利用しない理由
 - ・ バスのサービスが改善された場合における利用意向
 - ・ 利用可能な運賃の上限額
- ③ 公共交通への税負担や必要性等に関する意識について
 - ・ バスを維持・充実するために、播磨町が運行経費を負担することについて
 - ・ 住まいの地域に公共交通は必要だと思うか
 - ・ 仮にデマンド交通が運行されるようになった場合における利用意向
 - ・ バス等の乗り換え許容回数
- ④ 将来における外出状況について
 - ・ 外出先や外出方法が変化するという時期
 - ・ 外出が変化してからの外出頻度の変化や想定する外出目的、外出頻度、外出先、移動手段
 - ・ 自家用車中心の生活から公共交通中心の生活に転換意向
- ⑤ 運転免許証返納意向について（※65歳以上が対象）
 - ・ 運転免許証の返納意向
 - ・ 返納しない理由、返納する条件
- ⑥ 属性
 - ・ 性別、年齢、住まいの地域、運転免許証や乗り物の保有状況 など

2. バス利用実態調査

(1) 目的

- 土山駅南口を起終点とする路線バスを対象に、以下の内容を明らかにするための利用実態調査を実施する。
 - 1) 路線別・バス停別・時間帯別・基本属性別の利用状況（OD含む）
 - 2) 通勤・通学及び自由目的（買物・通院など）への需要状況の把握
 - 3) 路線バスと鉄道駅との乗継利用状況の把握

●土山駅南口停留所



【OD】

- Oは起点(origin)、Dは終点(destination)を表す。
今回の調査では、調査日における町内全バス利用者の乗車（起点）バス停と降車（終点）バス停を把握する。

2. バス利用実態調査

(2) 調査概要

- 土山駅南口を起終点とする路線バスの利用実態を把握するため、以下の調査実施要領に基づき調査を実施・集計する。
 - (1) 調査対象：土山駅南口を起終点とする路線バスの利用者
 - (2) 調査日時：令和5年（2023年）7月の平日1日
※始発便から終発便まで（6時台～21時台の約16時間）
 - (3) 調査方法：対象路線の全便に調査員を配置し、バス利用者が乗車の際に調査票を配布し、降車する際にバス車内設置の回収箱で回収する全数把握調査とする。
 - (4) 主な調査項目：運賃の支払方法、利用頻度、利用目的、他の交通との乗り継ぎ、バスの運賃支払許容額、お住まいの地域、バス利用者属性、バス停間OD等

●調査時のイメージ



2. バス利用実態調査

●調査対象路線

